

2019年11月19日

各 位

会社名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則
(JASDAQ・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森田 信彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

今年も『冬みず田んぼカモ米』をつくりました

～小田原の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献～

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、小田原市の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献する『冬みず田んぼカモ米プロジェクト』の活動を通じて、昨年に引き続き、今年も契約農家と一緒に『冬みず田んぼカモ米』をつくりました。

1. 『冬みず田んぼカモ米プロジェクト』のCSR・CSV活動

『冬みず田んぼカモ米プロジェクト』は、「カモを呼び戻したい」想いだけでなく、雑草が生えにくい利点を活かして農薬を減らした「安心安全なお米作りを広めたい」想いと、子供たちが田んぼと触れ合う場をつくり「生き物や食べ物の大切さを伝えたい」想いの3つの想いを持って活動しています。

同社は、このプロジェクト活動を通じて、「豊かな自然環境づくり（環境保全）」、「安心安全で付加価値の高い食づくり（農業振興）」、「元氣あふれる地域づくり（地域活性化）」に貢献し、新たな社会価値を創造しながら、持続可能な環境社会を構築していきます。

2. 『冬みず田んぼカモ米プロジェクト』の活動を通じた地域貢献

今年も、地域貢献への活動として、地域の方々に招いて、①農業体験イベント（田植え、稲刈り）、②生き物観察会イベント、③かまどでお米を炊いて食べるイベントを開催しました。

①農業体験イベント（田植え、稲刈り）

6月に地域の方々と共に、泥んこになりながら田植えをし、9月には、自分たちで田植えをした田んぼで稲刈りをしました。普段では体験できない農作業をすることができ、農業の楽しさ、大変さを実感できました。

②生き物観察会イベント

農業体験イベントに合わせ、子供たちと一緒に田んぼの生き物を採集し、その特徴や生態を学びました。冬みず田んぼでは、トウキョウダルマガエルやシオカラトンボ、ドジョウなど、最近の田んぼでは少なくなった生き物を見ることができました。

③かまどでお米を炊いて食べるイベント

同社で指定管理を行っている開成町にある古民家「瀬戸屋敷」でイベントを開催し、お米が炊けるまでの時間には、プロジェクトの活動内容や、生き物や食べ物の大切さを、子供にも分かりやすく紙芝居を使って伝えました。

3. 小田原市農業まつりでの販売

『冬みず田んぼカモ米』は、11月16日（土）～17日（日）に小田原城址公園で開催された小田原市農業まつり（主催：小田原市農業まつり実行委員会、来場者約6万人）において、官民共同（小田原市・おだわら環境志民ネットワーク）による環境貢献ブランド研究ブース「おだわら森里川海」で、地域の環境に貢献する商品（2kg袋入り1400円、3合パッケージ500円）として販売し、好評につき完売しました。

これらの活動の状況等については、facebookにて随時投稿しています。
 Facebook : <https://www.facebook.com/fuyumizutanbo.kamo.rice/>



■『冬みずたんぼカモ米プロジェクト』の活動を通じた地域貢献



<農業体験イベント（田植え）>



<農業体験イベント（稲刈り）>



<生き物観察会イベント>



<かまどでお米を炊いて食べるイベント>
 (同社が指定管理を行う「瀬戸屋敷」にて開催)



瀬戸屋敷

■小田原市農業まつりでの販売



<共同販売ブース「おだわら森里川海」>

■Facebookによる活動状況の投稿



<Facebook>

『冬みずたんぼカモ米』とは？

かつて、箱根芦ノ湖や小田原の酒匂川では名物だったカモが減っています。稲刈り後に水を張る冬みずたんぼは、カモの餌場となり、越冬できる環境になります。このお米をつかった冬みずたんぼでも、カモが集まってきました。カモをもっと呼び戻したいという想いを込めて、『冬みずたんぼカモ米』と名付けました。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
 TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
 URL: <https://www.oriconsul.com/>
 統括本部 宮内、丸山